

8部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 平成27年度(2015年)9月卒業の方へ

9月卒業確定者には、第1回判定日(7/31)以降、「履修状況票」などを順次お送りしております。ご確認ください。今年の9月卒業予定者は約90名となっております。卒業される方には、ここまでのご努力が報われたことを心よりお祝いたします。

2 平成27年度(2016年)3月卒業希望の方へ

(1) 「卒業試験」の受験について

9月～H28.1月の科目修了試験で「卒業試験」を受験し合格する必要があります(「卒業研究」合格予定の方を除く)。

90単位以上(入学時の認定単位を含む)修得者で3月に卒業する意思のある方は受験可能です。試験問題等は『学習の手引き』5章IIに公開されておりますので、早めの受験をお願いいたします。

(2) 卒業までの諸期限について

●卒業のための学習計画の目安について

『試験・スクーリング 情報ブック2015』p.31～32・37に記載の、レポート、スクーリング、科目修了試験の期限や目安を参考に、学習計画を立て、卒業に向けて学習を進めてください。

●スクーリング受講について

『試験・スクーリング 情報ブック2015』p.67(3月卒業希望者)に記載がございますので、ご確認ください。

※2～3月の「社会福祉援助技術実習指導A」「教育実習の事前事後指導」「障害者教育実習の事前・事後指導」「肢体不自由教育」「社会保険論VTR」は3月卒業希望者は受講できません。申込みを行うと、3月卒業希望者の登録から削除させていただきます。

3 平成28年度9月卒業希望で 「卒業研究」受講希望の方へ

「卒業研究」の受講を希望する方は、『レポート課題集C（心理専門編）2015』p.161～170をよく読んだうえで、同冊子巻末の「卒業研究 申込用紙」に必要な事項を記入し、10/5必着（厳守）で持参、または配達記録の残る書留や宅配便でお申込みください。

現在、履修登録をしていない方が申込み場合は、11月の「追加履修登録」を行えば受講可能です。受講の可否、指導教員決定通知は11月初旬に発送いたします。

4 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士の演習、実習に関するメールのご質問はuj@tfu-mail.tfu.ac.jpへお願いいたします。

1 発送物のご案内

「★■演習A」「◆演習Ⅰ」スクーリング7月受講者

スクーリング成績結果 7/27までに発送済

「★■演習B」「◆演習Ⅱ」スクーリング（受講許可証・納入依頼書）

9/25発送予定（9/15受講条件達成者）

10/25発送予定（10/15受講条件達成者）

「★■実習指導B-3」「◆実習事後指導」スクーリング（9/30締切分）

受講許可証（A4用紙） 10/9発送予定

「★■演習C-2」スクーリング（9/30締切分）

受講許可証・納入依頼書 10/9発送予定

「★■演習C-1+C-2」スクーリング（7/25・26受講者）

スクーリング成績結果発送 9/8発送済

2 「★■演習A」「◆演習I」のスクーリング 申込みについて

【対象学年】 2年生以上

【申込締切日（開講日：会場）】

10/15（11/21・22：新潟） 11/30（H28 1/23・24：仙台）

【申込方法】 本冊子巻末の申込用紙を提出。

【受講条件】 『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）』 p.136

3 「★■演習B」「◆演習II」のスクーリング 申込みについて

3年生以上で、10～11月分の受講を希望する方のスクーリング申込みは9/15で締め切りました。10/15までに受講条件を満たせなかった方には10/25頃までに不許可通知を送付します。

※2回目の判定日10/15で、下記①②③の受講条件を満たそうと思う場合、レポートは10/15必着でご提出ください。

※2回目の判定日10/15で受講条件を満たした方は、11月のスクーリングのみ受講可能です。

※判定日を過ぎて提出されたレポートなどは、受講条件に含まれませ

ん。また受講条件の緩和などありません。

「演習B・II」スクーリング受講条件

- ①10/15までに「社会福祉援助技術総論」（旧カリ「社会福祉援助技術論Ⅰ」）・「社会福祉援助技術演習A」（旧カリ「社会福祉援助技術演習Ⅰ」）の2科目分すべてのレポート提出。
- ②10/15までに上記2科目以外に社会福祉士・指定科目のなかから4科目分すべてのレポートを提出（個別単位認定科目を除く）。
- ③10/15までに「社会福祉援助技術演習B・II」の1単位めレポートを提出。
- ④（入学から1年以上経過して申込む場合）10/15までに一括認定単位を除き20単位以上を修得。
- ⑤9/15までに「社会福祉士養成課程履修費」を納入済みであること（新カリのみ）。

4 来年度に実習希望の方へ

3年生以上で来年度実習を希望する方の申込みは9/15で締め切りしました。また、申込受理条件を満たせなかった方には、最終判定日（1/31）から2週間程度で不許可通知をお送りします。

- ①申込受理条件の判定日は10/31 or 11/30 or 12/20 or 1/31です。
※実習申込みが受理された方に、各判定日から2週間程度で連絡（封書）します。条件を満たせなかった方には、最終受理判定日（1/31）から2週間程度で通知（封書）します。
- ②実習申込受理条件を満たした判定日以降、実習依頼を開始します。

※受理条件は、『実習の手引き 第1分冊 2015年度版』または『学習の手引き』をご参照ください。

※受理条件は、項目により締切日が異なりますのでご注意ください。

※受理条件の緩和はありません。

③実習が許可されるには、社会福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲を持っていること、「社会的および学習上のルール」が守れることが必要です。

※「スクーリングに遅刻・早退する、レポートなどの提出期限や納入期限が守れない、書類を紛失する、行動や感情をコントロールできない、実習日の変更を大学の許可なく行う、実習指導者・担当教員の指示に従えない」等に該当の場合、実習は行えません。

5

国家試験を受験される方へ (社会福祉士・精神保健福祉士共通)

今年度の第28回社会福祉士国家試験・第18回精神保健福祉士国家試験を受験される方の証明書の申請方法は『With』108号 p. 66～67をご覧ください（証明書申請締切日は、9/25です）。

試験センターへの受験申込みも各自で行ってください。受付期間は平成27年9月10日(木)～10月9日(金)（消印有効）までとなっています。今年度受験予定でまだ申込みを行っていない方はお急ぎください。

また、できるだけ時間を割いて受験対策の勉強を行ってください。

社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験の出題基準・合格基準は、「社会福祉振興・試験センター」のホームページの「出題基準・合格基準」<http://www.sssc.or.jp/> をご覧ください。

6 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★=平成14～23年度入学者対応の科目

■=平成24～27年度入学者対応の科目

精神保健福祉士関連の問合せ先（メール） psw@tfu-ail.tfu.ac.jp

● 発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送日
「■精保実習A」 巡回指導教員の通知	平成27年度 精保実習A受講者	8/25
「◆★精保演習」スクーリング時 の小テスト出題範囲	「◆★精保演習」スクー リング受講予定者 (11月開講予定)	10月中旬
「精神保健福祉士指定科目履修見込 証明書（卒業見込証明書を含む）」 ※国家試験受験用	今年度国家試験受験予定 者（所定の様式にて申請 のあった方）	随時発送

注意：国家試験の受験申込期日は10/9(金)までとなっています(消印有効)。

【平成23年度以前入学者(旧カリキュラム)の方へ】

● 1 「◆★精保演習」スクーリング(今年度11月開講)の申込について

今年度11/14・15開講の「◆★精保演習」スクーリングの申込みは、9/15で締切りました。受講申込受理条件判定日は10/15、受講許可通知は10/20に発送予定です。

9/15の時点で条件を満たした方へは、9/20までに受講許可通知を送付予定です。受講申込受理条件は『レポート課題集A2015』p.259～記載

の「精神保健福祉援助演習」スクーリング受講条件をご参照ください。

今回受講申込受理条件を達成できなかった方は、次回3/15申込締切です（開講日：次年度6月または7月頃開講予定）。

※合同受講の特例について

前号『With』109号のp. 84に記載のとおり、受講希望者が所定の定員を超えた場合、あるいは、これに加え所定の定員に達しなかった場合は12/12・13開講の「■精保演習A」スクーリングとの合同受講となります。その場合、「◆★精保演習」1単位めの提出期日は10/15で変更ありませんが、2単位めの提出期日は「■精保演習A」の期日と同じ1/13までとなります。

また、次年度「◆★精保実習」の受講申込受理条件について、「◆★精保演習」の単位修得条件は1月末の最終判定日までに満たせば良いこととします。

（例）10月末に「◆★精保演習」を除く実習申込受理条件の達成+1月末に「◆★精保演習」単位修得

なお、12月の合同受講とならない場合であっても、「精保実習A選考試験（面接）」を除き、演習のスクーリング時間数、内容、演習中に実施される小テスト、評価方法等は「■精保演習A」と様になります。

演習スクーリング時に行われる小テストの出題範囲の通知は、11月受講の場合は10月中旬、12月合同受講の場合は11月中旬となります。

2 次年度(平成28年度)「◆★精保実習」の申込について

次年度「◆★精保実習」の申込みは9/15で締切りました。順次受講判定を行い、実習申込受理条件を満たした方から実習受入内諾依頼調整を行います（『レポート課題集A2015』p. 267参照）。入学年度により『学習の

手引き』2002-2008◆版 p. 83～、または2009-2011★版 p. 98～の「V
精神保健福祉士国家試験受験資格」をご確認ください。

なお、「◆★精保演習」が12/12・13開講の「■精保演習A」スクー
リングとの合同開講となった場合の「◆★精保演習」の単位修得条件の特例
については前項1のとおりです。

【平成24年度以降入学者(新カリキュラム)の方へ】 ≪実習受講者・実習免除者共通≫

1 「■精保演習A」スクーリング(今年度12月・ 1月開講)を受講希望の方へ

今年度12/12・13または1/23・24の「■精保演習A」スクーリングを
受講希望の方は、11/30までに受講申込受理条件(『レポート課題集A
2015』p. 172【条件1】)を満たすよう、計画的に学習を進めてください
(受講申込方法は、次号『With』111号(10/31発送予定)にて案内予定
です)。

平成24年度から今年度4月入学までの在籍生で、次年度に「■精保実習
A」の受講を希望する方は、上記「■精保演習A」スクーリングを受講し
「■精保実習A選考試験(面接)」に合格していることが必須となりますの
で、ご注意ください。

また、今年度2/6・7の「■精保演習B(実習免除者用)」スクーリ
ングの受講を希望する方は、12/12・13の受講が必須となります。

なお、今年度10月入学の3年次編入学生で次年度「■精保実習A」を受
講希望の方、ならびに実習免除の方は、上記日程のほか来年4/30の申込
みで5/31までに【条件1】を達成し、6月(予定)または7月(予定)
の受講でも、最短修業年数に遅れは生じません。

《実習受講者専用》 （「■精保実習A」(10/1～2/15)関連)

2 今年度「■精保実習A」を受講する方へ

「■精保演習B-1・実習指導A-1(実習A事前指導)」スクーリング受講時のガイダンスで説明したとおり、実習開始までに下記の作業をガイダンス受講後遅くとも20日以内に完了してください。

- ① 巡回指導を行なう実習担当教員への挨拶（通知受理後）
- ② 実習機関へのご依頼状（実習受入の御礼も含む）を封書で送付
- ③ 実習機関への事前訪問（実習指導者への「実習計画案」の内容確認依頼→「実習計画書」の作成→2部を本学へ提出）

実習機関への正式依頼は、提出された「個人記録」「健康診断書」等の書類を添えて、本学から実習開始日のおよそ1カ月前に行われます。

また、「■精保実習A」の受講条件（『レポート課題集A2015』p.172【条件4】）を満たした方から、「■精保演習B-2・実習指導A-2(精保実習A事後指導)・帰校指導・精保実習B選考試験 受講申込カード」を9月下旬～10月上旬にかけて送付予定です（提出期日：10/31必着）。

『試験・スクーリング 情報ブック2015』p.46, 『レポート課題集A2015』p.226の「レポート課題 2単位め」、およびp.241「課題3」を参照のうえ、受講日（1/23・24または3/5・6）ごとに指定された期日までに課題に取り組んでください（受講許可通知は11月中旬発送予定です）。

～『実習記録』の取り扱いについて～

実習期間中、日々記録を行い、適宜ページを切り離して実習指導者に提出し、実習終了後、最終頁の「実習のまとめ」を記入し、すべての記録を冊子にまとめた状態で実習指導者に提出してください。その際、実習指導

者に「講評」欄に講評を記入し、「評価表」「出勤簿」と一緒に「実習記録」を直接本学に送付いただくよう伝えてください。

(実習先によってはページを切り離さないで提出を求める場合もありますので、実習先の指示に従ってください。)

実習終了後は、「実習記録」は手元になくなるため、実習指導者に提出する前に「■精保実習A事後レポート」作成用にコピーを取っておくことをお勧めします。なお、「実習記録」は最終的に実習生に返却されます。実習指導者の「講評」の内容確認は、「評価表」の開示も含め、実習事後指導以降に可能となります。

3 次年度(平成28年度)「■精保実習A」を受講希望の方へ

「■精保実習A受講希望届出様式」の配付希望受付は、8/31で締め切りしました。

次年度「■精保実習A」を受講希望の方は、【様式1・2・3】に必要な事項を記入し、11/30までに申込みを行ってください。

今年度10月入学の3年次編入生で、次年度「■精保実習A」の受講を希望する方については、入学出願時に提出の「■精保実習A受講希望届」等の内容に沿って実習受入の内諾依頼調整を行います。

(「■精保実習B」(7/1~12/25)関連)

4 今年度「■精保実習B」を受講の方へ

「■精保演習C-2・実習指導B-2・帰校指導(精保実習B事後指導)受講申込カード」を9/30に送付予定となっております(提出期日:10/31必着)。

5 次年度(平成28年度)「■精保実習B」を受講希望の方へ

次年度「■精保実習B」の受講申込みは9/15で締め切りました。

今年度3/31までに「■精保実習B」受講条件Ⅰ(『レポート課題集A 2015』p.172【条件5】)を満たすよう、計画的に学習に取り組んでください。なお、【条件5】に指定される科目が未履修の方は、11月に追加履修登録を行ってください(次号『With』111号でご案内予定)。

《実習免除者専用》

6 今年度「■精保演習B(実習免除者用)」スクーリング(2/6・7開講)を受講希望の方へ

次号の『With』111号でご案内します。

7 教職免許状 取得希望の方へ

●高等学校教諭一種免許状(福祉)取得希望の方へ

『With』109号p.89~92をご確認ください。

なお、これまで「履修カルテ」を提出したことがある方以外は、「教育実習」「教職実践演習」を受講する方法で福祉科免許状を取得することはできません。

●特別支援学校教諭一種免許状取得希望の方へ

『With』109号p.89~92もご一読ください。本学における平成27年度の学部学科改組に伴い、通信教育部では「教職免許状」の課程認定を取り下げております。そのため、今後の方針といたしまして、以下のとおりご報告させていただきます。

免許状取得のために学習されている在学生の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

今後も『With』でのご案内や、本学からのお手紙などは必ずご一読ください。

なお、10月中旬ごろに、特別支援学校教諭免許状取得希望の方には、よりくわしいご案内をお送りさせていただきます。

(1) 平成28年4月以降科目等履修生に、平成28年10月以降正科生に学籍変更（再入学）することはできません。

- ・文部科学省の規定で平成28年度以降、科目等履修生の履修に制約があるため

(平成27年10月までは学籍変更は可能です ※出願締切日10月15日必着)

- ・本変更にともない、下記項目すべてに該当する方に対し、退学時に学費の一部を返金する予定です（詳細は未定）。

①本学通信教育部の卒業を必要とせず、特別支援学校教諭免許状取得をめざしている方

②退学年度（平成28年度または平成29年度）に単位を修得する科目が10単位以下で、特別支援学校教諭免許状に関する科目、および特別支援教育支援員修了証明に関する科目のみ単位を修得する方

③返金対象期間（平成28年度または平成29年度の退学する年度1回限り）

4月生：平成28年4月～平成29年3月または平成29年4月～平成30年3月

10月生：平成28年10月～平成29年9月または平成29年10月～平成30年9月

※ 学費の一部返金につきまして、詳細が決まり次第改めてご連絡いたします。

※ 平成28年3月末までの単位修得をお考えの場合は、平成28年2月末までのレポート提出・科目修了試験受験を、平成28年9月末までの単位修得をお考えの場合は、平成28年8月末までのレポート提出・9/10までの科目修了試験受験をご予定ください。

- ・高等学校・短期大学卒業の方などは、必ず卒業までに免許状取得に必要なすべての科目の単位修得が必要になります。
- ・本変更にともない、『学習の手引き』4章Ⅲ2-2)に記載の「科目等履修生への再入学」は教職免許状取得希望者には当てはまらなくなりしますので、ご注意ください。

(2) 特別支援学校教諭免許状に関する科目で、教職科目として単位修得を希望する場合は、平成30年度までに修得をしてください。

・「障害者教育実習の事前指導」スクーリング希望者で未受講の方は、下記の4回のスクーリングのいずれかで受講をお願いいたします。

①平成28年3月末ごろ ②平成28年7月末（8月初旬）ごろ

③平成29年3月末ごろ ④平成29年7月末（8月初旬）ごろ

・「障害者教育実習」は平成29年度までに受講するように計画をたててください。

平成29年度に受講するためには平成28年度の実習申込みが必要な地域もありますので、ご注意ください。

(3) 【科目等履修生】特別支援学校教諭免許状に関する科目の履修は、その科目で正科生の履修者がいなくなると、特別支援学校教諭免許状に関

する科目として認められなくなります。

上記(2)にかかわらず、文部科学省の規定に従い、たとえば「障害者教育総論」などの科目では、早ければ平成28年度から正科生の受講者がいなくなる可能性もあります。早めの単位修得をお願いいたします。

(4) 履修方法：RorSRの科目の大半は、今後スクーリングの開講がありません。

・開講予定科目（以下が最終開講となります）

発達障害教育総論 10/3・4（申込締切9/10）

知的障害者の心理 11/12～12/18 オンデマンド・スクーリング
（申込締切11/1）

視覚障害教育総論 12/24～26（申込締切11/19）

肢体不自由教育 平成28年3/28・29（申込締切H28年2/25）

聴覚障害教育 平成28年度前期開講予定

発達障害者の心理 平成28年度前期開講予定

・今後スクーリングの開講予定がない科目

障害者教育総論 知的障害教育 重複障害教育総論 自閉症教育総論

(5) 特別支援学校教諭免許状に関する科目の履修登録は、原則として平成29年度までに行ってください（平成29年度11月追加履修登録が最終）。

(6) 本学認定資格 特別支援教育支援員基礎講座修了証明 希望の方

・特別支援教育支援員概論のスクーリングは、平成29年度の開講が最終です。

平成30年度以降の開講予定はありません。

8 幼保特例講座受講の方へ

●10月新入生の方へ

(1) 『With』（本冊子）について

特に重要なのは下記のページです。

・ 3部 科目修了試験のご案内

※受験希望者は巻末ハガキでのお申込みをお忘れなく。

※受験科目のレポート提出期限は試験申込締切日必着です（「TFU オンデマンド」上でレポート解答の場合は申込締切日までに合格が必要）。

・ 8部（または7部）「幼保特例講座 受講の方へ」

※レポートや『幼保特例講座 科目ガイド』の修正等もご案内します

(2) 『試験・スクーリング 情報ブック2015』について

特に重要なのは「2部 科目修了試験」と「6部 会場案内」です。

※レポートを郵送で提出する方は「1部 通信教育部カレンダー」に記載の「レポート受付日」を目安に努力してみてください。

(3) 入学許可時に送付された冊子をご確認ください

① 『学習の手引き』（p. 108～114からお読みください）

② 『幼保特例講座 科目ガイド』（レポート提出上の留意点も記載）

③ 『試験・スクーリング 情報ブック2015』（上記②参照）

④ 『With』（上記①参照）

(4) 入金後に送付されたものをご確認ください

① 履修登録科目と教科書が書かれた用紙（保管ください）

② 履修登録科目のレポート

③ 履修登録科目の教科書

※不足があれば、到着後10日以内にお申し出ください。

※「学生証」「氏名バーコードシール」「履修状況表web閲覧システム パスワード」は、上記①～③とは別便で9/30以降に送付いたします。

●10月生科目等履修生 継続手続きについて

科目等履修生として受講している10月生の方で、8/31までのレポート提出や、9/5・6科目修了試験の受験の結果、単位未修得科目がある場合、10月以降の学習のためには10/10までの継続手続きが必要です。

●保育士資格取得希望の方へ

(1)「乳児保育」スクーリングの受講申込について

本冊子『With』には、12/12・13の「乳児保育」スクーリングの受講案内が掲載されていますので、10月新入生および未受講の方は巻末のハガキ（秋期スクーリングⅢ受講申込みハガキと共通）を使用してスクーリングの申込み手続きを行ってください。

12月の「乳児保育」スクーリングを受講・合格し、その他の科目も3月までに単位修得すれば、平成28年4月～5月中旬の保育士試験に受験申請可能です（全科目免除にて7月頃に合格通知が届きます）。

今回の「乳児保育」スクーリングを受講しない場合は、平成28年8月のスクーリング（日程未定）の受講となりますが、その場合の保育士試験の受験申請は平成28年10月以降になります。

(2)「相談支援」スクーリングについて

「相談支援」はスクーリング受講が任意の科目ですが、受講を希望する方は、『With』111号で案内予定のオンデマンド・スクーリング（申込締切：12/13 視聴期間：12/24～1/22 スクーリング試験提出締切：1/22）を受講可能です。

(3) 「保健と食と栄養」教科書後送について

5 / 7に履修登録した一部の方～5 / 27までの履修登録者に、7 / 31に新しい教科書とレポート課題を発送済みです。

(4) 「保健と食と栄養」9月科目修了試験のお詫び

9月科目修了試験の出題で「保健と食と栄養」の問題選択の指示が誤っておりました。教員と協議し、9月の「保健と食と栄養」の解答者はその旨を配慮して採点させていただきました。お詫び申し上げます。

●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

幼稚園教諭免許状取得科目はすべて「レポート+科目修了試験」で単位を修得します。『試験・スクーリング 情報ブック2015』p. 50～51記載の日程で科目修了試験を申込み・受験してみてください。

なお、「教職論（特例）」は『幼保特例講座 科目ガイド』で問題が公開されています。「初等教育課程の意義と編成」「幼児理解と保育相談」は、在宅web科目修了試験の受験も可能です（平成28年1 / 21実施分まで）。ただし、『With』109号 p. 68でご案内のとおり、平成28年4月以降、在宅web科目修了試験は休止となります。ご了承ください。